

チーム医療を実現する体系的学士課程の構築

文部科学省「大学教育推進プログラム」

昭和大学では平成21～23年度文部科学省「大学教育推進プログラム」の支援で、「**チーム医療を実現する体系的学士課程の構築**－医系総合大学の特色を活かした参加型のチーム医療学習による医療人養成カリキュラム－」の事業を実施します。本事業は、昭和大学の教育理念と医系総合大学の特色を活かし、**チーム医療に求められる学士力**を修得することを目的に高学年の4学部連携カリキュラムを実施する全学的な取り組みです。



患者中心の医療の担い手として、様々な医療スタッフが連携、協力して適正で安全な診療・治療・ケアを実践するチーム医療が社会から強く求められています。

昭和大学におけるチーム医療学習の全体像



「PBLチュートリアルとは」 PBL (Problem-based learning) は、学生を少人数にわけ、行う問題立派型の学習方法で、患者シナリオに対する小グループ討議と自己学習を行い、チューター役を務める教員がレポートします。

体系的な高学年のチーム医療学習カリキュラム

昭和大学では平成18～20年度に文部科学省「医療人GP」の支援事業「チーム医療の有用性を実感する参加型学習」で、低学年を対象にチーム医療の基礎を作る4学部連携カリキュラムを開始いたしました。本取組では、これに引き続く**高学年の学習として、医療の実践の場である病院や地域で、全国初の本格的なチーム医療学習の参加型カリキュラム**を実施します。